



日本赤十字社
活動資金への
ご協力をお願いします。

**JAPANESE
RED CROSS SOCIETY**

災害救護・社会福祉・ボランティア・医療事業・看護師養成
救急法講習・血液事業・国際活動・青少年赤十字

メモ欄

.....

.....

.....

.....

日赤 あいち

検索

 **日本赤十字社**
Japanese Red Cross Society

赤十字は、
皆さまのご寄付がまっすぐ届き、
その願いにまっすぐ応える
事業を行っています。

[日本赤十字社]の主な事業



災害救護活動

迅速に医療救護活動を展開するために日頃から近隣県支部や他機関と連携し、様々な想定での救護訓練を重ねています。



救急法などの講習

緊急時の手当や事故防止の知識と技術を学ぶ講習会を県内各地やオンラインで開催しています。



国際活動

世界191の国と地域で人道支援を行い、救援活動や人材育成を通じて災害や病気で苦しむ人々を支援しています。



青少年赤十字

「気づき・考え・実行する」を態度目標に、学校教育の場で世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年を育成しています。



ボランティア

ボランティアが講習普及や災害時の被災者支援、地域福祉に関する活動を行うための支援体制強化に取り組んでいます。



医療事業

中村日赤と八事日赤は地域中核病院として機能し、災害時には医師や看護師を国内外へ派遣しています。



血液事業

愛知県赤十字血液センターは、献血への理解を広め、安全な血液を医療機関へ安定的に届けています。



看護師養成

日本赤十字豊田看護大学は、最先端の看護技術を学び、赤十字の活動を通じて社会に貢献できる看護師を養成しています。



社会福祉

地域の課題を把握し、行政や企業と連携して社会活動を展開。また、赤十字健康教室で保健衛生向上に貢献しています。



[愛知県支部]が取り組む重点事業

重点事業01

子ども・子育て世代の支援

子どもたちが家庭や学校以外で安心して過ごすことのできる「第三の居場所」づくりを中心に、子どもの体験機会の提供や孤立・孤独の解消、子育て支援につながる取り組みを行っています。



重点事業02

高齢者健康生活支援

高齢者の孤立を防ぎ、健康増進に資する環境づくりのため、企業等と連携した外出・移動支援や健康チェックの実施など、社会参加を促す支援を行っています。



重点事業03

多文化共生社会の実現に向けた事業の推進

日本語を十分に理解できない方にも「やさしい日本語」で救急法等の講習を普及するほか、外国にルーツのある子どもたちを対象とした支援事業を、関係機関と連携しながら実施しています。



重点事業04

災害時の被災者支援

医療救護活動に加え、救援物資の配布による生活環境の整備など被災された方を支援します。また、地域の方々や児童・生徒に対して赤十字防災セミナーや防災教育事業を実施し、災害に備えるための取り組みを行っています。



皆さまからの活動資金のご協力は
日本赤十字社の事業に
大切に活用させていただきます。



あなた ▶



日本赤十字社

ごあいさつ

平素から日本赤十字社の事業推進に格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は、国内においても度重なる台風や豪雨、地震などの自然災害が発生し、多くの方々が被災されました。また、国際社会においても情勢不安が長期化し、いのちと暮らしが脅かされる人道危機が続いております。こうした状況を受け、当支部では災害義援金や海外救援金の募集、また必要に応じて職員の派遣等に努めてまいりました。

また、平時の活動として、災害発生時に迅速な対応ができるよう、様々な想定の実訓・研修を実施するほか、救急法等の講習普及、青少年赤十字、赤十字ボランティアの育成など、地域の皆様とともに、いのちと健康、尊厳を守る取り組みを進めております。

さらに近年、貧困や孤独・孤立、多文化共生など、地域社会が抱える問題は一層複雑化しています。こうした多様な社会ニーズに応えるため、当支部では「子ども・子育て世代の支援」「高齢者の健康生活支援」「多文化共生社会の実現に向けた事業」「災害時の被災者支援」の4つを重点分野として掲げ、県内の市町村や関係団体、地域住民の皆様と連携しながら新たな取り組みを展開しております。

本年も地域に寄り添い、必要とされる支援を着実に実施してまいります。今後とも引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



日本赤十字社愛知県支部
支部長

大村 秀孝

令和8年度予算概要



お寄せいただく資金で右記のような活動を
予定しています。

歳入	
内訳	予算額
活動資金収入	1,107,000,000円 85.6%
委託金・補助金及び交付金収入	8,532,000円 0.7%
繰入金収入・資産収入・雑収入	24,766,000円 1.9%
前年度繰越金	152,926,000円 11.8%
合計	1,293,224,000円 100.0%

歳出	
内訳	予算額
① 災害救護事業と救護看護師の養成に	394,260,000円 30.5%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	45,775,000円 3.5%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	55,247,000円 4.3%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	46,628,000円 3.6%
⑤ 社会福祉事業などに	45,954,000円 3.6%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,391,000円 0.4%
⑦ 国際的な活動に	10,685,000円 0.8%
⑧ 活動資金募集のために	76,367,000円 5.9%
⑨ 赤十字の普及・広報活動のために	41,766,000円 3.2%
⑩ 赤十字病院救急医療体制の整備に ^{※1}	146,837,000円 11.4%
⑪ 市町村における赤十字活動に	121,400,000円 9.4%
⑫ 全国的な赤十字活動に	125,550,000円 9.7%
⑬ 支部の運営に	177,364,000円 13.7%
合計	1,293,224,000円 100.0% ^{※2}

※1 使途が指定された活動資金による事業を含みます。 ※2 端数処理の関係で構成比の合計に差があります。

活動資金のご協力方法



地域でのご協力



チャリティイベントでのご協力



遺言や相続財産によるご協力



企業でのご協力

※地域でのご協力をご依頼しているほか、ダイレクトメールなど年間を通じて活動資金協力のお願いが重複する場合がございますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

税制上の優遇措置

お寄せいただいた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人情報の取り扱い

日本赤十字社（本社及び都道府県支部）は、会費（社費）、寄付金（「海外たすけあい」を含む）、海外救援金、国内災害義援金へのご協力の際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、受領証や活動報告等の送付及び事業資金等の募集活動の目的のためにのみ使用します。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50
TEL (052) 971-1596

日赤 あいち

検索

